

基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎	担当者	新井 悦二	
1		統計学	開講時期	1年前期			
			授業時間	15			
□実務経験のある教員による授業					単位数	1 単位	講義
科目概要・目標 資料を適切に整理したり、資料全体の特徴を数量的に捉えられるようにする。また、標本調査の基本的な仕組みについて理解する。①資料を整理分析できる。 ②標本抽出の実際と、母集団と標本の関係を理解できる。③t検定について理解できる。					教科書（書名/著者名/発行所）		
					はじめての統計学		
					日本経済新聞社		
教育目標該当項目		②					
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	確率とその基本的な法則					新井
2	2	資料の整理					新井
3	2	特性値（平均、中央値、最頻値）					新井
4	2	分散・標準偏差の計算と意味					新井
5	2	母集団と標本					新井
6	2	正規分布の活用					新井
7	2	t 検定					新井
8	2	重要事項総括・定期試験対策					新井
評価方法		定期試験、出席、提出物、授業態度から総合的に評価する。					

基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎	担当者	田村 大輔
2		情報科学	開講時期	1年通年		
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
レジュメ・サマリー等の資料を、情報機器（パソコン）のオフィスソフトを用いて作成する。情報機器（パソコン）を使い、プレゼンテーション・発表する能力を養う。					なし 各自「Microsoft Word、Excel、PowerPoint全てがインストールされたパソコン（私物または学校の備品どちらでも可）」と「USBメモリー」 ※指定する教科書・参考書はありません。Microsoft Word、Excel、PowerPointについて解説されている書籍やスマートフォン等の持ち込みは自由です。	
教育目標該当項目			②			
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	オリエンテーション 自分史の作成	Word,Excelの使用して資料を作成する			田村
2	2	自分史の作成	Word,Excelを使い資料を作成する			田村
3	2	自分史の作成	Word,Excelを使い資料を作成する			田村
4	2	自分史の作成	Word,Excelを使い資料を作成する			田村
5	2	自分史の作成	Word,Excelを使い資料を作成する			田村
6	2	自分史の発表	Word,Excelで作成した資料をPCを用いて発表する			田村
7	2	自分史の発表	Word,Excelで作成した資料をPCを用いて発表する			田村
8	2	「歯科臨床概論」のまとめの 作成	PowerPointを使用して資料を作成する			田村
9	2	「歯科臨床概論」のまとめの 作成	PowerPointを使用して資料を作成する			田村
10	2	「歯科臨床概論」のまとめの 作成	PowerPointを使用して資料を作成する			田村
11	2	「歯科臨床概論」のまとめの 作成	PowerPointを使用して資料を作成する			田村
12	2	「歯科臨床概論」のまとめの 作成	PowerPointを使用して資料を作成する			田村
13	2	「歯科臨床概論」のまとめの 作成	PowerPointを使用して資料を作成する			田村
14	2	「歯科臨床概論」のまとめの 発表	PowerPointで作成した資料をPCを用いて発表する			田村
15	2	「歯科臨床概論」のまとめの 発表	PowerPointで作成した資料をPCを用いて発表する			田村
評価方法		出席、提出物、発表内容から評価する。				

基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎	担当者	井古田 大介	
3		発達心理学	開講時期	1年前期			
			授業時間	30			
□実務経験のある教員による授業					単位数	2 単位	講義
科目概要・目標 発達の基礎的理論や最近の研究成果を紹介するだけでなく、社会問題となっている虐待や発達障害なども説明する。					教科書（書名/著者名/発行所）		
					歯科衛生学シリーズ 心理学		
					全国歯科衛生士教育協議会		
					医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		①②					
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	発達心理学とは					井古田
2	2	発達段階と課題					井古田
3	2	発達と学習（古典的学習）					井古田
4	2	発達と学習（オペラント学習）					井古田
5	2	発達と学習（観察学習）					井古田
6	2	胎児期から新生児期の発達					井古田
7	2	乳幼児期の発達					井古田
8	2	乳児期の発達					井古田
9	2	児童期の発達					井古田
10	2	思春期・青年期の発達					井古田
11	2	成人期の発達					井古田
12	2	中年期の発達					井古田
13	2	高齢期（老年期）の発達					井古田
14	2	重要事項総括・定期試験対策					井古田
15	2						
評価方法	主として定期試験の得点によって評価を行うが、授業態度等も参考にする。						

基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎	担当者	田村 覚美
4		歯科英語	開講時期	1年前期	単位数	1 単位
			授業時間	15		
		☑実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業。 臨床の現場で実際に使用する歯科英単語の知識習得に努める。					教科書（書名/著者名/発行所）	
					歯科衛生学シリーズ 歯科英語	
					全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目		①②				
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	歯科で使用する歯科英単語	導入（教科書・プリント使用）			田村
2	2	歯科で使用する歯科英単語	歯科に関する英単語を学ぶ			田村
3	2	歯科で使用する歯科英単語	歯科に関する英単語を学ぶ			田村
4	2	歯科で使用する歯科英単語	歯科に関する英単語を学ぶ			田村
5	2	歯科で使用する歯科英単語	DVD視聴			田村
6	2	歯科で使用する歯科英単語	DVD視聴			田村
7	2	講義総括	重要事項総括・定期試験対策			田村
8	2	総括	まとめ			田村
評価方法	定期試験、出席、学習態度、単語テスト、提出物により総合評価する。					

基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎	担当者	新井 直美	
5		医療倫理	開講時期	1年通年	単位数	2 単位	講義
			授業時間	30			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標 歯科診療の流れと歯科臨床科目を概略的に学習する。					教科書（書名/著者名/発行所）		
					歯科衛生士のための歯科臨床概論 第2版		
					医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		①⑥					
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	歯科医療					新井
2	2	歯科医療					新井
3	2	歯科疾患					新井
4	2	歯科診療の流れ					新井
5	2	歯科診療の流れ					新井
6	2	歯科保存学					新井
7	2	歯周治療					新井
8	2	補綴学					新井
9	2	矯正学					新井
10	2	小児歯科					新井
11	2	口腔外科					新井
12	8	診療所見学 歯科臨床の場を見学して、歯科衛生士業務を考える					新井
評価方法		定期試験、出席と授業態度を重視する。					

基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎	担当者	田村 覚美	
6		コミュニケーション論	開講時期	1年通年			
			授業時間	15			
☑実務経験のある教員による授業					単位数	1 単位	講義
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業で、医療人を目指す第一歩として、他者とのコミュニケーション能力・スキル・メンタルを考える。					教科書（書名/著者名/発行所）		
教育目標該当項目			①				
回数	時間	授業内容					担当教員
1	4	入学オリエンテーション					田村
3	4	合同HR①					田村
4	4	球技大会					田村
5	4	合同HR②					田村
6	4	合同HR③					田村
評価方法	出席と授業態度を重視する。						

基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎	担当者	熊澤 真理子	
7		生命科学	開講時期	1年前期			
			授業時間	15			
□実務経験のある教員による授業					単位数	1 単位	講義
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科医学の基礎となる生命科学、特に生化学分野を学ぶ重要性を認識し、歯科衛生士に必要な知識を学習し、理解を深める。					歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 2 生化学・口腔生化学 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目			②				
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	2	生体の構成要素	生化学を学ぶ目的、生命の基本である細胞の構造や細胞小器官の働きを理解する。			熊澤	
2	2	生体における化学反応	栄養素の消化および吸収、細胞内で起こる代謝について理解する。			熊澤	
3	2	糖質と脂質の代謝	エネルギー代謝の全体像を理解する。主要なエネルギー基質である糖質、脂質の代謝を理解する。			熊澤	
4	2	タンパク質とアミノ酸の代謝	タンパク質の消化吸收課程、アミノ酸を材料としてタンパク質が合成される過程を理解する。			熊澤	
5	2	歯と歯周組織の生化学	歯における無機成分と有機成分、歯周組織における細胞成分などを、生化学的に理解する。			熊澤	
6	2	硬組織の生化学	歯と骨の石灰化の仕組み、血清カルシウム調節におけるホルモンの働きを理解する。			熊澤	
7	2	唾液・プラークの生化学	唾液中の無機質や有機質の種類を列举し、作用を理解する。う蝕・歯周疾患へのプラークの関わりを理解する。			熊澤	
8	2	総括	重要事項統括・定期試験対策			熊澤	
評価方法	定期試験、出席状況、学習態度、提出課題で総合的に評価をする。						

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	熊澤 真理子
8		解剖学	開講時期	1年前期	単位数	2 単位
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
歯科臨床における解剖学の重要性を認識し、人体を構成する骨・筋・生命活動に必要な各器官系の構造と機能を理解する。					歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目		②				
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	解剖学概論	歯科臨床における解剖学の重要性を理解する			熊澤
2	2	骨格系	骨質の種類・骨の結合・関節の分類・骨格を構成する骨の種類を理解する			熊澤
3	2	骨格系・筋系	脊柱・胸郭・上肢骨・下肢骨の種類・筋組織の種類と骨格筋の構造・作用を理解する			熊澤
4	2	筋系	頸部・胸部・腹部・背部・上腕・前腕・下肢・大腿の筋を理解する			熊澤
5	2	消化器系（1）	内臓諸器官の基本構造・消化器系（口腔・食道・胃・小腸）の構造と機能を理解する			熊澤
6	2	消化器系（2）	消化器系（大腸・肝臓・膵臓）の構造と機能を理解する			熊澤
7	2	呼吸器系	呼吸器系（鼻・咽頭・喉頭・気管・肺）の構造と機能を理解する			熊澤
8	2	泌尿器系・生殖器系	泌尿器（腎臓・尿管・膀胱）と男性・女性生殖器の構造と機能を理解する			熊澤
9	2	内分泌系	内分泌（下垂体・甲状腺・上皮小体・性腺・副腎）の構造と機能を理解する			熊澤
10	2	脈管系（1）	血管の種類と構造・心臓の構造と機能・心臓の弁・刺激伝導系を理解する			熊澤
11	2	脈管系（2）	心臓の血管と神経・血液循環（動脈系・静脈系・リンパ系）を理解する			熊澤
12	2	神経系（1）	神経組織・中枢神経（脊髄・脳幹・間脳）の構造と機能を理解する			熊澤
13	2	神経系（2）	中枢神経（大脳）の構造と機能・脳の血管・末梢神経（脳神経・脊髄神経）の分布状況を理解する			熊澤
14	2	感覚器	感覚器（視覚器・平衡感覚器・味覚器・嗅覚器・外皮）の構造と機能を理解する			熊澤
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			熊澤
評価方法	定期試験、授業態度等で総合的に評価する。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	熊澤 真理子	
9		生理学	開講時期	1年前期			
			授業時間	30			
□実務経験のある教員による授業					単位数	2 単位	講義
科目概要・目標 医療従事者として歯科衛生士が取得しておかなければならない人体の構造と機能を学習する。					教科書（書名/著者名/発行所）		
					歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目			②				
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	2	生理学とは	生理学とは何か？			熊澤	
2	2	細胞	細胞の構造			熊澤	
3	2	血液	血液の成分・働き・止血			熊澤	
4	2	呼吸	呼吸運動			熊澤	
5	2	体温	体熱の生産・放散			熊澤	
6	2	消化	消化の意味			熊澤	
7	2	呼吸	呼吸の意味			熊澤	
8	2	排泄	排泄（発汗・排尿）			熊澤	
9	2	循環	心臓の構造と働き・自動能			熊澤	
10	2	内分泌	内分泌器官とホルモン			熊澤	
11	2	生殖	生殖機能・性周期			熊澤	
12	2	感覚	感覚の基本的性質			熊澤	
13	2	筋	筋の種類と機能			熊澤	
14	2	神経	神経の基本的機能			熊澤	
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			熊澤	
評価方法		定期試験、授業態度等で総合的に評価する。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	新井 邦尊
10		口腔解剖学	開講時期	1年前期		
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					単位数	2 単位
歯科衛生士として必要な口腔諸器官の構造、頭頸部に存在する骨・筋の種類と作用、口腔付近の脈管系と分布部位などを理解する。					講義	
					教科書（書名/著者名/発行所）	
					歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目			②			
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	口腔解剖学（口腔）	口腔の区分と構造を理解する。			新井
2	2	口腔解剖学（口蓋・舌）	口蓋の区分・舌の構造と舌乳頭・舌筋の種類と神経支配を理解する。			新井
3	2	口腔解剖学（唾液腺）	大唾液腺の種類と性状・小唾液腺の種類・咽頭の構造と筋を理解する。			新井
4	2	口腔解剖学（骨学）	頭蓋骨の区分・副鼻腔・泉門・内頭蓋底に存在する孔を理解する。			新井
5	2	口腔解剖学（骨学・筋学）	上顎骨と下顎骨の形態・顎関節の形態・表情筋の種類を理解する。			新井
6	2	口腔解剖学（筋学）	舌骨上筋の種類・咀嚼筋の種類と作用を理解する。			新井
7	2	口腔解剖学（脈管学）	顎動脈の枝と分布部位・下顎底にあるリンパ節を理解する。			新井
8	2	口腔解剖学（脈管学）	頭頸部の動脈・外顎動脈の枝・顔面動脈の枝と分布部位を理解する。			新井
9	2	口腔解剖学（神経学）	脳神経の種類・上顎神経および下顎神経の枝と分布部位を理解する。			新井
10	2	口腔解剖学（神経学）	顔面神経の枝と分布部位・脊髄神経の分布・自律神経の伝導路を理解する。			新井
11	2	口腔解剖学（エナメル質）	エナメル質の物理化学的組成と微細構造を理解する。			新井
12	2	口腔解剖学（象牙質）	象牙質の物理化学的組成と微細構造を理解する。			新井
13	2	口腔解剖学（歯髄）	歯髄の細胞と線維を理解する。			新井
14	2	口腔解剖学（歯周組織）	歯周組織について理解する。			新井
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			新井
評価方法		定期試験、授業態度等で総合的に評価する。				

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	新井 直美
11		歯牙解剖学	開講時期	1年前期	単位数	1 単位
			授業時間	15		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 歯科衛生士として必要な知識である、永久歯・乳歯の形態的特徴などを理解する。					教科書（書名/著者名/発行所） 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 □口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目			②			
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	歯の概論	歯の種類・歯式の表示方法を理解する			新井
2	2	上下顎切歯・犬歯	上下顎中切歯・側切歯・犬歯の形態を理解する			新井
3	2	上下顎小臼歯	上下顎小臼歯の形態を理解する			新井
4	2	上顎大臼歯	上顎第一、第二大臼歯の形態を理解する			新井
5	2	下顎大臼歯	下顎第一、第二大臼歯の形態を理解する			新井
6	2	乳歯	各乳歯の形態を理解する			新井
7	2	歯の観察	代表歯のスケッチを行う			新井
8	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			新井
評価方法		定期試験、授業態度等で総合的に評価する。				

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	新井 邦尊
12		口腔生理学	開講時期	1年通年		
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					単位数	2 単位
歯科衛生士として必要な、口腔領域における細胞や組織の構造と機能、および歯の発生とその微細構造などを理解する。					教科書（書名/著者名/発行所）	
					歯科衛生学シリーズ	
					歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
					全国歯科衛生士教育協議会	
教育目標該当項目					②	
					医歯薬出版株式会社	
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	口腔組織学（細胞と組織）	細胞の構造・細胞小器官とその機能を理解する			新井
2	2	口腔組織学（細胞と組織）	組織（上皮組織・腺上皮・支持組織・軟骨組織・骨組織）の構造と機能を理解する			新井
3	2	口腔組織学（細胞と組織）	筋組織の分類と作用・神経組織の構造・皮膚の構造と機能を理解する			新井
4	2	口腔組織学（口腔諸器官の発生）	人体の初期発生（受精と着床）、胚葉形成と由来する器官・骨の発生様式を理解する			新井
5	2	口腔組織学（口腔諸器官の発生）	顔面の発生・口蓋の形成を理解する			新井
6	2	口腔組織学（口腔諸器官の発生）	下顎骨の発生・大唾液腺の発生・歯と歯周組織の発生を理解する			新井
7	2	歯と口腔の感覚	圧覚のメカニズム、口腔の感覚などについて理解する			新井
8	2	味覚と嗅覚	基本味の種類と代表的呈味物質を説明できる。嗅覚の仕組みについて概説できる			新井
9	2	咬合と咀嚼・吸啜	下顎位、下顎運動、各種顎反射について説明できる			新井
10	2	咬合と咀嚼・吸啜	咀嚼の定義および意義、神経機構、評価機構について概説できる			新井
11	2	咽頭と喉頭の構造	咽頭と喉頭の構造を理解する			新井
12	2	嚥下と嘔吐	嚥下と嘔吐を理解する			新井
13	2	発声	発声に関わる音声器官の働き、発音に関わる影響について理解する			新井
14	2	唾液	唾液分泌機構、唾液の性状と成分および生理的作用について理解する			新井
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			新井
評価方法		定期試験、授業態度等で総合的に評価する。				

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	桐生 賢太
13		病理学Ⅰ	開講時期	1年後期	単位数	1 単位
			授業時間	15		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 疾病(病気)の原因、発症の機序、進展、および転帰といった、人体に生じる疾病のあり方を学ぶ。本科目は主に病理学総論として、病理学の基礎となる考え方を構築できるよう講義を展開する。					教科書（書名/著者名/発行所）	
					歯科衛生学シリーズ	
					疾病の成り立ち及び回復過程の促進1	
					病理学・口腔病理学	
教育目標該当項目			②		医歯薬出版株式会社	
回数	時間	授業内容				担当教員
1	2	オリエンテーション／病因論				桐生
2	2	遺伝性疾患と形態異常／循環障害①				桐生
3	2	循環障害②				桐生
4	2	代謝障害と退行性病変				桐生
5	2	増殖と修復				桐生
6	2	炎症と免疫応答異常				桐生
7	2	歯の発育異常				桐生
8	2	重要事項総括・定期試験対策				桐生
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	桐生 賢太
14		病理学Ⅱ	開講時期	2年前期	単位数	1 単位
			授業時間	15		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 疾病(病気)の原因、発症の機序、進展、および転帰といった、人体に生じる疾病のあり方を学ぶ。病理学Ⅰの内容を基礎として、臨床歯科医学に大いに関連する各種疾患の病態生理について、講義を展開する。					歯科衛生学シリーズ	
					疾病の成り立ち及び回復過程の促進1	
					病理学・口腔病理学	
					医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目			②			
回数	時間	授業内容				担当教員
1	2	オリエンテーション／腫瘍・嚢胞総論				桐生
2	2	口腔領域における腫瘍・嚢胞①				桐生
3	2	口腔領域における腫瘍・嚢胞②				桐生
4	2	唾液腺疾患／顎骨の病変				桐生
5	2	口腔粘膜の病変				桐生
6	2	歯の損傷と着色・付着物／う蝕・象牙質歯髄複合体の病態				桐生
7	2	口腔組織の加齢変化				桐生
8	2	後期重要事項総括・定期試験対策				桐生
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	川田 直子
15		微生物学Ⅰ	開講時期	1年前期		
			授業時間	15		
□実務経験のある教員による授業					単位数	1 単位
講義						
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
各々の微生物がどのようにして感染症を起こすのかといった、感染症の成り立ちについて学ぶ。					歯科衛生学シリーズ	
主に各種微生物の病原性について学び、臨床歯科医学に生かせるように講義を展開する。					疾病の成り立ち及び回復過程の促進2	
					微生物学 第2版	
教育目標該当項目					医歯薬出版株式会社	
②						
回数	時間	授業内容				担当教員
1	2	オリエンテーション／疾病と微生物				川田
2	2	微生物の病原性				川田
3	2	主な病原微生物－細菌①				川田
4	2	主な病原微生物－細菌②				川田
5	2	主な病原微生物－その他の原核生物				川田
6	2	主な病原微生物－ウイルス①				川田
7	2	主な病原微生物－ウイルス②				川田
8	2	重要事項総括・定期試験対策				川田
評価方法		定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。				

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	川田 直子
16		微生物学Ⅱ	開講時期	1年通年	単位数	1 単位
			授業時間	15		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
各々の微生物がどのようにして感染症を起こすのかといった、感染症の成り立ちについて学ぶ。					歯科衛生学シリーズ	
微生物学Ⅰの内容を基礎として、生体の防御能の中心をなす免疫学を重要なテーマとする講義を展開する。					疾病の成り立ち及び回復過程の促進2	
教育目標該当項目					②	
回数	時間	授業内容				担当教員
1	2	オリエンテーション／宿主防衛機構と免疫①				川田
2	2	宿主防衛機構と免疫②				川田
3	2	宿主防衛機構と免疫③				川田
4	2	宿主防衛機構と免疫④				川田
5	2	口腔微生物学①				川田
6	2	口腔微生物学②				川田
7	2	院内感染対策と滅菌・消毒／細菌培養・顕微鏡観察				川田
8	2	重要事項総括・定期試験対策				川田
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	川田 直子	
17		薬理学Ⅰ	開講時期	1年前期	単位数	1 単位	
			授業時間	15			講義
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標 薬物を生体に与えた場合に生体が表す反応について学ぶ。 解剖学・生理学などの知識を土台に要する総合的な専門基礎科目であり、臨床歯科医学における安全な薬物療法の実施に直結するため、これを念頭において講義を展開する。					教科書（書名/著者名/発行所） 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版 医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②					
回数	時間	授業内容				担当教員	
1	2	オリエンテーション／薬物の作用				川田	
2	2	薬物の取り扱い／薬物と法律				川田	
3	2	薬物の適用方法の種類と特徴／薬物動態①				川田	
4	2	薬物動態②／薬物の作用に影響を与える要因				川田	
5	2	中枢神経系に作用する薬物				川田	
6	2	末梢神経系に作用する薬物				川田	
7	2	局所麻酔薬				川田	
8	2	重要事項総括・定期試験対策				川田	
評価方法		定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	川田 直子	
18		薬理学Ⅱ	開講時期	2年前期	単位数	1 単位	
			授業時間	15			講義
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標 薬物を生体に与えた場合に生体が表す反応について学ぶ。 解剖学・生理学などの知識を土台に要する総合的な専門基礎科目であり、臨床歯科医学における安全な薬物療法の実施に直結するため、これを念頭において講義を展開する。					教科書（書名/著者名/発行所）		
					歯科衛生学シリーズ		
					疾病の成り立ち及び回復過程の促進3		
					薬理学 第2版		
					医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②					
回数	時間	授業内容				担当教員	
1	2	オリエンテーション／血液に作用する薬物				川田	
2	2	炎症と薬				川田	
3	2	循環器系・呼吸器系・消化器系に作用する薬物				川田	
4	2	免疫と薬／代謝性疾患治療薬				川田	
5	2	抗感染症薬				川田	
6	2	消毒薬				川田	
7	2	歯科疾患に関する治療薬／服薬指導				川田	
8	2	重要事項総括・定期試験対策				川田	
評価方法		定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	川田 直子
19		保健生態学Ⅰ	開講時期	1年前期	単位数	1単位
			授業時間	15		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 社会歯科医学に属する学問である保健生態学の重要性を鑑み、基礎事項を習得する。健康と予防医学の概念、環境要因と健康との関係を軸として、主に衛生学・公衆衛生学分野を中心とした講義を展開する。					歯科衛生学シリーズ	
					歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1	
					保健生態学	
教育目標該当項目			②④⑤⑥			医歯薬出版株式会社
回数	時間	授業内容				担当教員
1	2	オリエンテーション／保健生態学総論				川田
2	2	人口①				川田
3	2	人口②				川田
4	2	健康と環境①				川田
5	2	健康と環境②				川田
6	2	健康と環境③				川田
7	2	疫学				川田
8	2	重要事項総括・定期試験対策				川田
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	堀内 知恵
20		保健生態学Ⅱ	開講時期	1年前期	単位数	2 単位
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
個人と集団（地域）の両面から人の一生を健康で豊かに送ることができるよう、口腔の疾患の予防と健康の保持増進を図る手段を考究し、歯と口腔の形態及び機能を知り、口腔疾患の予防や健康増進のための技法を習得する。					歯科衛生学シリーズ	
					歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1	
					保健生態学	
教育目標該当項目			②④⑤⑥		医歯薬出版株式会社	
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	口腔衛生学／歯・口腔の健康と予防	口腔衛生学の位置づけと健康と予防医学の概念を認識し、歯・口腔の健康を保持増進する手段について理解する。			堀内
2	2	歯・口腔の構造	歯・口腔の構造と働きについて理解する。			堀内
3	2	歯・口腔の付着物・沈着物	歯・口腔の付着物・沈着物について理解する。			堀内
4	2	口腔清掃	口腔清掃法の種類について理解する。			堀内
5	2	う蝕のメカニズム	う蝕のメカニズムを理解する。			堀内
6	2	う蝕発生の要因・う蝕活動性試験・う蝕の予防法	う蝕の発生要因に対する予防法を理解する。 う蝕活動性試験の内容を理解する。			堀内
7	2	フッ化物	人間生態系におけるフッ化物の作用を理解する。			堀内
8	2	フッ化物の代謝・フッ化物の毒性	生体におけるフッ化物代謝やその毒性を理解し、正しい対処法を知る。			堀内
9	2	フッ化物応用によるう蝕予防法	フッ化物歯面塗布や歯磨剤など、ライフステージに応じたフッ化物の応用法を理解する			堀内
10	2	歯周組織の構造・歯周疾患	健康な歯周組織の構造を理解し、歯周疾患の発生機序を理解する。			堀内
11	2	歯周疾患の予防と治療	歯周疾患の予防と治療による処置を理解する。			堀内
12	2	口内炎・口腔がんの要因と予防	口内炎・口腔がんの要因と予防について理解する。			堀内
13	2	不正咬合・顎関節症・歯の形成不全の分類・実態・要因・予防	不正咬合・顎関節症・歯の形成不全の要因と予防について理解する。			堀内
14	2	口臭・口腔乾燥症	口臭・口腔乾燥症の要因と予防について理解する。			堀内
15	2	ライフステージごとの口腔保健管理／総括	重要事項総括・定期試験対策			堀内
評価方法		定期試験、授業態度等で総合的に評価する。				

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	川田 直子
21		保健生態学Ⅲ	開講時期	2年前期	単位数	2 単位
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
社会歯科医学に属する学問である保健生態学の重要性を鑑み、基礎事項を習得する。健康と予防医学の概念、環境要因と健康との関係を軸として、主に衛生学・公衆衛生学分野を中心とした講義を展開する。					歯科衛生学シリーズ	
					歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1	
					保健生態学	
教育目標該当項目		②④⑤⑥			医歯薬出版株式会社	
回数	時間	授業内容				担当教員
1	2	オリエンテーション／感染症①				川田
2	2	感染症②				川田
3	2	食品と健康				川田
4	2	地域保健・公衆衛生				川田
5	2	母子保健				川田
6	2	学校保健①				川田
7	2	学校保健②				川田
8	2	成人保健				川田
9	2	産業保健				川田
10	2	高齢者保健				川田
11	2	精神保健				川田
12	2	災害時の歯科保健				川田
13	2	国際保健				川田
14	2	疫学				川田
15	2	重要事項総括・定期試験対策				川田
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門基礎分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎	担当者	熊澤 真理子
22		衛生行政・社会福祉	開講時期	2年前期	単位数	2 単位
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科保健医療を提供するにあたり、必要な法制度、社会保険や社会福祉・医療制度の基本知識について学習し、業務に反映できるよう理解を深める。					歯科衛生学シリーズ	
					保健・医療・福祉の制度	
					よくデル！歯科衛生士国試の必須知識	
教育目標該当項目					社会歯科	医歯薬出版株式会社
②⑤⑥						
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	歯科衛生士法①	歯科衛生士資格の成り立ちと目的を説明できる。歯科衛生士業務とその法的根拠、義務・責務を説明できる。			熊澤
2	2	歯科衛生士法② 歯科医師法	歯科衛生士の試験・免許に関する手続きを説明できる。歯科医師法に規定されている義務・責務を説明できる。			熊澤
3	2	歯科技工士法 歯科口腔保健 の推進に関する法律	歯科技工士法に規定されている義務・責務を説明できる。歯科口腔保健の推進に関する法律の概要を理解する。			熊澤
4	2	医療法	医療法の成り立ちと目的を説明できる。医療法に規定されている遵守事項について説明できる。			熊澤
5	2	保健師助産師看護師法	保健師助産師看護師法の概要および診療の補助について理解する。			熊澤
6	2	診療放射線技師法 言語聴覚 士法 医師法 薬剤師法	歯科医師の指示で歯科診療の補助を行う医療職種について理解する。医師法・薬剤師法の概略について理解する。			熊澤
7	2	その他の医療関係職種に係る 法律	その他の医療関係者の業務概要について理解する。			熊澤
8	2	その他の関係法規	薬事・地域保健に関連する法規の概要を説明できる。食品衛生法や感染症法などの概要を説明できる。			熊澤
9	2	社会保障 社会保険	日本国憲法第25条で示す社会保障の種類について列挙できる。社会保険の種類とその特徴について概説できる。			熊澤
10	2	医療保険	医療保険の種類とその法律について概説できる。			熊澤
11	2	介護保険	介護保険制度の仕組みについて概説できる。			熊澤
12	2	年金保険	年金保険について概説できる。			熊澤
13	2	雇用保険 労働者災害補償保険	雇用保険、労働者災害補償保険について概説できる。			熊澤
14	2	医療の動向	国民の受療状況が概説できる。国民医療費・歯科診療医療費の動向、歯科医療従事者数の推移が説明できる。			熊澤
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			熊澤
評価方法		定期試験、出席状況、学習態度、課題によって評価する。				

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	橋本 理恵	
23		歯科衛生学総論	開講時期	1年前期		単位数	2 単位
			授業時間	30			
		☑実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業で、歯科衛生士の意義・役割・使命について理解をするために、歯科衛生士の歴史的変遷と取り巻く社会的背景、歯科衛生士業務について修得する。					教科書（書名/著者名/発行所） 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保険・医療・福祉の制度 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社		
					教育目標該当項目		②③④⑤⑥
回数	時間	テーマ		授業内容・到達目標			担当教員
1	2	目標の設定		学ぶ目標を決める			橋本
2	2	医療人としての心構え①		心構えを理解する（身だしなみ、マナー）			橋本
3	2	医療人としての心構え②		心構えを理解する（敬語、丁寧語、尊敬語）			橋本
4	2	歯科衛生学とは		歯科衛生活動の領域を理解する			橋本
5	2	歯科衛生士の歴史		歯科衛生士誕生の経緯を知る			橋本
6	2	歯科衛生活動のための理論①		予防の考え方を理解する			橋本
7	2	歯科衛生活動のための理論②		歯科衛生の考え方を理解する			橋本
8	2	歯科衛生過程とは①		歯科衛生過程とは何かを理解する			橋本
9	2	歯科衛生過程とは②		グループワークにて知識を深める			橋本
10	2	歯科衛生士法と歯科衛生業務について		歯科衛生士の役割を理解する			橋本
11	2	歯科衛生士と医療倫理①		倫理の必要性及び医の倫理と患者の権利を理解する			橋本
12	2	歯科衛生士と医療倫理②		インフォームドコンセントを理解する			橋本
13	2	医療に携わる人①		医療に携わる人の職業調べを行う			橋本
14	2	医療に携わる人②		グループワークにて知識を深める			橋本
15	2	総括		重要事項総括・定期試験対策			橋本
評価方法		定期試験、講義の出席状況、学習態度、提出物等で総合的に評価する。					

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名		分野	専門	担当者	新井 邦尊	
24		保存修復学	開講時期	1年通年				
			授業時間	15				
		□実務経験のある教員による授業						
科目概要・目標						教科書（書名/著者名/発行所）		
歯の保存に対する考え、疾患の予防と進行抑制、最新の機器、材料、薬剤の特徴、使用方法を理解する。						歯科衛生学シリーズ		
						保存修復学・歯内療法学		
						全国歯科衛生士教育協議会		
						医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②						
回数	時間	授業内容					担当教員	
1	2	歯の保存方法の種類					新井	
2	2	保存修復の概要①					新井	
3	2	保存修復の概要②					新井	
4	2	直接法修復（コンポジットレジン修復）					新井	
5	2	直接法修復（セメント修復）					新井	
6	2	間接法修復（インレー及びアンレー修復）					新井	
7	2	間接法修復（ベニア修復、合着材及び接着剤）					新井	
8	2	保存修復における歯科衛生士の役割					新井	
評価方法		定期試験、出席と授業態度で評価する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	新井 直美	
25		歯内療法学	開講時期	1年通年	担当者	新井 直美	講義
			授業時間	15			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標 齲蝕が進行して歯髄や根尖歯周組織に病変がおこった場合の診断法と治療法である歯内療法学の概念を知り、基本的知識を習得する。					教科書（書名/著者名/発行所） 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社		
					教育目標該当項目		②
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	象牙質知覚過敏症、歯髄炎、根尖性歯周炎の原因、症状					新井
2	2	歯髄保存療法					新井
3	2	歯髄除去治療					新井
4	2	根管治療、根管充填					新井
5	2	外科的歯内療法					新井
6	2	歯の外傷					新井
7	2	歯内療法における安全対策					新井
8	2	歯内療法における診療補助					新井
評価方法		定期試験、出席状況等で評価する。					

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	丸山 修平	
26		歯周療法学	開講時期	1年後期		単位数	1 単位
			授業時間	15			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
対象とする歯周疾患は口腔内のみの疾患に留まらず、全身の健康に影響を及ぼすことが研究されて久しい。健康寿命の延伸にも関係が深い歯周疾患の予防・治療において、歯科衛生士の果たす役割は非常に大きく、生涯学習に結びつけられるように講義を展開する。					歯科衛生学シリーズ		
					歯周病学		
					全国歯科衛生士教育協議会		
教育目標該当項目			②		医歯薬出版株式会社		
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	オリエンテーション／歯周治療とは					丸山
2	2	正常な歯周組織の構造と機能					丸山
3	2	歯周病の分類と原因					丸山
4	2	歯周治療の進め方／歯周病の検査					丸山
5	2	歯周基本治療					丸山
6	2	歯周外科治療					丸山
7	2	口腔機能回復治療／メンテナンス					丸山
8	2	重要事項総括・定期試験対策					丸山
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	新井 悦二	
27		歯科補綴学	開講時期	1年通年	担当者	新井 悦二	講義
			授業時間	15			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標 円滑な診療補助を行うために歯科補綴治療に関する基礎的な知識を習得する。					教科書（書名/著者名/発行所）		
					歯科衛生学シリーズ		
					歯科補綴学		
					全国歯科衛生士教育協議会		
					医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目			②				
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	歯科補綴の概要と基礎知識					新井
2	2	補綴治療と装置					新井
3	2	歯科補綴治療とCr－Brの治療					新井
4	2	有床義歯とインプラント					新井
5	2	歯科補綴治療の器材と歯科技工					新井
6	2	歯科補綴治療における歯科衛生士の役割					新井
7	2	患者指導と器材の管理					新井
8	2	歯科補綴治療の流れ					新井
評価方法	定期試験、出席と授業態度を重視する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	新井 邦尊	
28		歯科矯正学	開講時期	1年後期	単位数	1 単位	講義
			授業時間	15			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標 口腔内の悪習癖とその疾患や不正咬合を学び、矯正治療に関する基礎知識を習得する。					教科書（書名/著者名/発行所）		
					歯科衛生学シリーズ		
					歯科矯正学 第2版		
					全国歯科衛生士教育協議会		
					医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目			②				
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	不正咬合の原因					新井
2	2	成長と発育					新井
3	2	矯正力について					新井
4	2	保定について					新井
5	2	不正咬合の分類					新井
6	2	矯正装置の種類					新井
7	2	矯正器具の種類					新井
8	2	重要事項総括・定期試験対策					新井
評価方法	定期試験、出席と授業態度を重視する。定期試験は国家試験に準ずる方法で行う。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	川田 直子
29		口腔外科学	開講時期	1年通年	単位数	1 単位
			授業時間	15		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 う蝕や歯周病を除く、顎・口腔領域に発現する疾患全てを対象とする。主要な口腔外科疾患の病態や基本的な治療法について、系統的に理解することができるように、また各種麻酔法に関する事項も含めて講義を展開する。					歯科衛生学シリーズ	
					口腔外科学・歯科麻酔学 第2版	
					全国歯科衛生士教育協議会	
教育目標該当項目			②			医歯薬出版株式会社
回数	時間	授業内容				担当教員
1	2	オリエンテーション／口腔外科の概要／局所麻酔法				川田
2	2	精神鎮静法／全身麻酔法				川田
3	2	口腔領域の神経疾患／唾液腺疾患 〔小手術①〕				川田
4	2	顎・口腔領域の先天異常と発育異常 〔小手術②〕				川田
5	2	顎・口腔領域の損傷および機能障害 〔小手術③〕				川田
6	2	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患／腫瘍・嚢胞性疾患 〔小手術④〕				川田
7	2	口腔粘膜の病変 〔小手術⑤〕				川田
8	2	重要事項総括・定期試験対策				川田
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。					

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	川田 直子	
30		小児歯科学	開講時期	1年通年			
			授業時間	15			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
成長発育を続ける小児を対象とする学科目である。患児のみならず保護者との連携を必須とするという特徴を理解し、健全な小児の成長発育に貢献できる歯科衛生士としての心構えをもち、十分に役割を果たせるように講義を展開する。					歯科衛生学シリーズ		
					小児歯科学		
					全国歯科衛生士教育協議会		
					医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②					
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	オリエンテーション／小児歯科学概論					川田
2	2	心身の発育					川田
3	2	小児の生理的特徴／顔面頭蓋の発育					川田
4	2	歯の発育とその異常／歯列・咬合の発育と異常					川田
5	2	小児の歯科疾患					川田
6	2	小児歯科における患者との対応法					川田
7	2	小児歯科における診療体系・歯科衛生士の役割					川田
8	2	重要事項総括・定期試験対策					川田
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	川田 直子	
31		歯科放射線学	開講時期	1年通年	単位数	1 単位	講義
			授業時間	15			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
口腔領域における疾患の診断や、治療において欠かすことのできないエックス線を中心に、歯科衛生士として習得すべき放射線の基本的な知識を学習する。安全な歯科衛生業務に反映できるように講義を展開する。					歯科衛生学シリーズ		
					歯科放射線学 第2版		
					全国歯科衛生士教育協議会		
教育目標該当項目			②		医歯薬出版株式会社		
回数	時間	授業内容					担当教員
1	2	オリエンテーション／歯科医療と放射線①					川田
2	2	歯科医療と放射線②					川田
3	2	エックス線画像の形成					川田
4	2	歯科におけるエックス線検査－口内法エックス線撮影					川田
5	2	歯科におけるエックス線検査－パノラマエックス線撮影					川田
6	2	歯科におけるエックス線検査－その他の画像検査法					川田
7	2	写真処理と画像保管の実際／放射線治療と口腔管理					川田
8	2	重要事項総括・定期試験対策					川田
評価方法	定期試験の成績に対して、出席状況・受講態度・提出課題の評価を加味し、総合的に成績評価を行う。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	堀内 知恵	
32		高齢者歯科論	開講時期	2年通年	単位数	2 単位	講義
			授業時間	30			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
高齢者を取り巻く環境と高齢者の特徴を理解し、チーム医療の重要性と高齢者歯科に対する歯科衛生士の関わりを理解する。					歯科衛生学シリーズ		
					高齢者歯科学		
					歯科衛生士書き込み式学習ノート		
					④臨床科目編〈下〉		
教育目標該当項目			②③④⑤⑥		医歯薬出版株式会社		
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標				担当教員
1	2	高齢者を取り巻く環境	高齢者の居住する場所の種類について理解する。				堀内
2	2	高齢者に関わる法制度	高齢者に関わる法制度の変遷について理解する。				堀内
3	2	加齢に伴う身体的・精神的変化と疾患	加齢に伴う身体的・精神的変化と疾患について理解する。				堀内
4	2	高齢者に多い全身疾患	高齢者に多い全身疾患について理解する。				堀内
5	2	高齢者に特有な口腔疾患	高齢者に特有な口腔疾患を理解する。				堀内
6	2	高齢者の状態の把握	様々な状態把握を行う検査方法を理解できる。				堀内
7	2	高齢者歯科と臨床検査	高齢者のバイタルサイン，臨床検査について理解する。				堀内
8	2	高齢者の口腔ケア	高齢者に特有な口腔内を理解した上で適した口腔ケアを理解できる。				堀内
9	2	有病高齢者・要介護高齢者への口腔ケア	有病高齢者・要介護高齢者の口腔内を理解した上で，適した口腔ケアを理解できる。				堀内
10	2	摂食・嚥下の機能 リハビリテーション（1）	摂食・嚥下の機能を理解する。 衰えた機能のリハビリテーションを理解できる。				堀内
11	2	摂食・嚥下 リハビリテーション（2）	摂食・嚥下リハビリテーションの種類を理解できる。				堀内
12	2	摂食・嚥下 リハビリテーション（3）	〃				堀内
13	2	摂食・嚥下 リハビリテーション（4）	〃				堀内
14	2	在宅訪問診療／高齢者歯科における歯科衛生過程	在宅訪問診療の概要と在宅医療機器について理解できる。				堀内
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策				堀内
評価方法	定期試験、出席状況、授業態度等で総合的に評価する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	堀内 知恵
33		障害者歯科論	開講時期	2年後期		
			授業時間	15		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標 障害者の口腔保健管理のあり方を学ぶ。障害者の歯科治療では治療や指導及び患者管理に特別な配慮を必要とする。その際に必要な身体的・知的・精神的特徴と特有の口腔機能障害の知識について学ぶ。障害者医療における、歯科衛生士としての適切な態度と行動を習得する。					教科書（書名/著者名/発行所）	
					歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 歯科衛生士書き込み式学習ノート ④臨床科目編〈下〉 医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目		②③④⑤⑥				
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	障害者の概念	障害と障害者について社会的視点から理解する			堀内
2	2	障害者の特徴	全身の特徴・歯科的特徴を理解する			堀内
3	2	障害者と薬剤	障害者に多い服用薬剤の種類・用途について説明できる			堀内
4	2	障害者の歯科治療	障害者歯科の特性を理解する			堀内
5	2	障害者の歯科治療	障害者歯科における行動調整を理解する			堀内
6	2	障害者の歯科治療と診療補助	障害者歯科治療の基本的な流れと歯科衛生士の役割を理解する			堀内
7	2	歯科保健と口腔管理	歯科保健と口腔管理における留意点を理解する			堀内
8	2	リスク評価と安全管理	障害者歯科におけるリスクを考え、適切に対応することができる			堀内
評価方法		出席、授業態度、定期試験等で評価する。				

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	岩崎 貢士
34		摂食・嚥下リハビリテーション	開講時期	3年前期	単位数	2 単位
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
摂食嚥下の基本を理解したうえで、摂食嚥下に対するリハビリテーション（病態・評価・対応法）について実際の症例を含めて学ぶ。同時に、高齢者の口腔ケア等、要介護高齢者に対しての歯科衛生士としての役割についても理解を深める。					歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目		②③④⑤⑥				
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	リハビリテーション	リハビリテーションの意味を理解し、口腔リハビリの概論を学ぶ。			岩崎
2	2	摂食嚥下リハビリテーション 総論	摂食嚥下リハが必要とされている背景を含め、概要を実際の現場の紹介をもとに解説し興味を持ってもらう。			岩崎
3	2	摂食嚥下のメカニズム	摂食嚥下機能の正常像の理解。（解剖、生理中心に）			岩崎
4	2	摂食嚥下の障害とは	正常像に続いて、摂食嚥下障害の病態を理解する。（特に脳血管疾患について）			岩崎
5	2	評価法	歯科衛生士としてのアプローチのスタンスを学び、役割を理解する。			岩崎
6	2	評価法	全身の評価と摂食嚥下に関する各評価法を理解する。DVDを用いて）			岩崎
7	2	訓練法	評価に基づいた正確な対応と実際の訓練法を学ぶ。			岩崎
8	2	訓練法	DVDを用いて。			岩崎
9	2	要介護高齢者の口腔内、義歯について	口腔ケアの実際、義歯に焦点を絞り、歯科衛生士の本分を理解する。			岩崎
10	2	要介護高齢者の食事について	食事の指導、支援について学ぶ。今後増えるであろう訪問診療について考え方を理解する。			岩崎
11	2	摂食嚥下リハビリテーションにおける連携（チームアプローチ）	他職種の役割を理解し、チームアプローチの概念を学ぶ。（長崎リハでのカンファレンスのVTRも紹介）			岩崎
12	2	症例報告	リハビリテーション病院、訪問での実際の症例を通して、現場の取り組みを学ぶ。			岩崎
13	2	クリニックで行う摂食嚥下リハビリテーション	クリニックでの取り組みを紹介、W/Cの使い方など障害者への配慮を学ぶ。			岩崎
14	2	成功に導くために	摂食嚥下リハ、まとめと成功へのアドバイス、試験について。			岩崎
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			岩崎
評価方法	出席、授業態度、定期試験の結果を総合的に評価する。					

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	内田 綾	
35		歯科予防処置論Ⅰ	開講時期	1年前期			
			授業時間	45			
		☑実務経験のある教員による授業		単位数			
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での10年間の実務経験と活かした授業 で、歯および口腔の疾患を予防し健康な状態を維持・増進するために 行われる専門的な処置を行うために必要な知識を学習し、実習を通し て技術を身につける。					教科書（書名/著者名/発行所） 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2 版 保健生態学 医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②③④⑤⑥					
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標				担当教員
1	4	オリエンテーション／ 歯科予防処置の概要	学校内で学ぶ基礎実習を理解する。 歯科予防処置とは何かを理解する。				内田
2	4	口腔内の付着物の基礎知識歯 石除去に用いる器材	口腔内の付着物の種類を理解する。 歯石除去に用いる器材を理解し、目的を理解する。				内田
3	4	手用スケーラーの基礎知識 ペンシルトレーニング	手用スケーラーの種類、把持方法、固定方法、 操作方法、ポジションを理解する。				内田
4	4	探針操作／ シックルスケーラー操作	探針の役割を理解し、正しく操作できる。 シックルスケーラーで動かし方を体感する。				内田
5	4	探針操作／シックルスケー ラーマネキン実習（1）	下顎前歯部				内田
6	4	探針操作／シックルスケー ラーマネキン実習（2）	上顎前歯部				内田
7	4	探針操作／シックルスケー ラーマネキン実習（3）	左側下顎臼歯部				内田
8	4	探針操作／シックルスケー ラーマネキン実習（4）	右側下顎臼歯部				内田
9	4	探針操作／シックルスケー ラーマネキン実習（5）	左側上顎臼歯部				内田
10	4	探針操作／シックルスケー ラーマネキン実習（6）	右側上顎臼歯部				内田
11	4	全顎実技テスト	正しい操作、ポジションで原則を守り行っているか をテストする。				内田
12	4	シックルスケーラーのシャ ーピング・前期総括	シャープニングの知識と必要性を理解する。 定期試験対策				内田
評価方法	定期試験、実技テスト、出席状況、授業態度等で総合的に評価する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	内田 綾	
36		歯科予防処置論Ⅱ	開講時期	1年後期			
			授業時間	45			
		☑実務経験のある教員による授業		単位数			
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での10年間の実務経験と活かした授業 で、歯および口腔の疾患を予防し健康な状態を維持・増進するために 行われる専門的な処置を行うために必要な知識を学習し、実習を通し て技術を身につける。					教科書（書名/著者名/発行所） 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2 版 保健生態学 医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②③④⑤⑥					
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標				担当教員
1	4	う蝕と予防処置法について	う蝕とう蝕予防処置法について理解する。 （小窩裂溝填塞法・フッ化ジアンミン銀塗布法）				内田
2	4	酸処理・ フッ化ジアンミン銀実習	酸処理とフッ化ジアンミン銀塗布法の実習を行い、 理解を深める。				内田
3	4	フッ化物について	フッ化物について理解できる。				内田
4	4	フッ化物の応用	フッ化物の応用の種類について理解できる。				内田
5	4	フッ化物の毒性の算定方法	フッ化物の安全性を理解し、毒性の算定ができる。				内田
6	4	フッ化物洗口法の実習	フッ化物洗口液を計算して作ることができる。 フッ化物洗口法の応用を理解できる。				内田
7	4	フッ化物の効果実習	脱灰とフッ化物の効果を理解できる。				内田
8	4	う蝕活動性試験	う蝕活動性試験の目的や用途を理解する。				内田
9	4	う蝕活動性試験実習（1）	CAT21, Dentobuff®－Strip, 唾液分泌量, Dentocult®-SM, Dentocult®-LBの実習				内田
10	4	う蝕活動性試験実習（2）	RDテスト®, オーラルグルコースクリアランステス トなどを行い、結果から指導案を立案する。				内田
11	4	プレテスト	2年生の患者役を体験することで1年間学んだことの 理解を深める。				内田
12	4	後期総括	定期試験対策				内田
評価方法	定期試験，出席状況，授業態度，報告書等で総合的に評価する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	橋本 理恵
37		歯科予防処置論Ⅲ	開講時期 授業時間	2年前期 135		
☑実務経験のある教員による授業					単位数	3 単位 実習
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業で、歯科予防処置の目的・方法・手技について講義や実習を通して学び、生体に対する配慮を行いながら正確かつ迅速に歯石除去をする技術・能力・態度を身につけることを目標とする。					教科書（書名/著者名/発行所）	
教育目標該当項目					②③④⑤⑥	医歯薬出版株式会社
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	4	シクルスケーラー操作復習	シクルスケーラー操作の再確認をすることができる			橋本
2	4	実習オリエンテーション（1）	偶発事故の予防とその対策について			橋本
3	4	実習オリエンテーション（2）	相互実習の流れについて			橋本
4	4	実習オリエンテーション（3）	歯式について			橋本
5	4	プロービングマニキン実習（全顎）	プロービングをマニキンにて行うことができる			橋本
6	4	プロービング相互実習（下顎）	生体に対する配慮をしながらプロービングを行うことができる			橋本
7	4	プロービング相互実習（上顎）	生体に対する配慮をしながらプロービングを行うことができる			橋本
8	4	シクルスケーラー相互実習（下顎前歯部）	生体に対する配慮をしながら下顎前歯部の歯石除去を行うことができる			橋本
9	4	シクルスケーラー相互実習（上顎前歯部）	生体に対する配慮をしながら上顎前歯部の歯石除去を行うことができる			橋本
10	4	歯面研磨について	歯面研磨の目的・方法を理解することができる			橋本
11	4	歯面研磨マニキン実習（全顎）	歯面研磨をマニキンにて行うことができる			橋本
12	4	歯面研磨相互実習（上下前歯部）	生体に対する配慮をしながら歯面研磨を行うことができる			橋本
13	4	シクルスケーラー相互実習（左下臼歯部）	生体に対する配慮をしながら左下臼歯部の歯石除去・歯面研磨を行うことができる			橋本
14	4	シクルスケーラー相互実習（右下臼歯部）	生体に対する配慮をしながら右下臼歯部の歯石除去・歯面研磨を行うことができる			橋本
15	4	シクルスケーラー相互実習（左上臼歯部）	生体に対する配慮をしながら左上臼歯部の歯石除去・歯面研磨を行うことができる			橋本

16	4	シックスケーラー相互実習 (右上臼歯部)	生体に対する配慮をしながら右上臼歯部の歯石除去・歯面 研磨を行うことができる	橋本
17	4	シックスケーラー相互実習 テスト	指示する部位の歯石を安全に除去することができる	橋本
18	4	キュレットスケーラーの基礎知 識	キュレットスケーラーの基礎知識・基本操作方法を理解す ることができる	橋本
19	4	キュレットマニキン実習 (下顎前歯部)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
20	4	キュレットマニキン実習 (上顎前歯部)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
21	4	キュレットマニキン実習 (上下顎前歯部復習)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
22	4	キュレットマニキン実習 (左下臼歯部)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
23	4	キュレットマニキン実習 (右下臼歯部)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
24	4	キュレットマニキン実習 (左上臼歯部)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
25	4	キュレットマニキン実習 (右上臼歯部)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
26	4	キュレットマニキン実習 (全顎)	キュレットスケーラーの操作方法をマニキンにて理解する ことができる	橋本
27	4	キュレットマニキンテスト	キュレットスケーラーにて指示する部位をマニキンにて実 施することができる	橋本
28	4	キュレット相互実習 (1)	生体に対する配慮をしながらキュレットスケーラーの操作 を行うことができる (左下臼歯部)	橋本
29	4	キュレット相互実習 (2)	生体に対する配慮をしながらキュレットスケーラーの操作 を行うことができる (右上臼歯部)	橋本
30	4	キュレットスケーラーのシャ ープニング	キュレットスケーラーのシャープニングを行うことができ る	橋本
31	4	超音波スケーラーの基礎知識	超音波スケーラーの基礎知識・基本操作を理解することが できる	橋本
32	4	エアスケーラーの基礎知識	エアスケーラーの基礎知識・基本操作を理解することがで きる (りんご・卵使用)	橋本
33	4	エアスケーラーマニキン実習 (上下前歯部)	エアスケーラーの操作方法をマニキンにて理解することが できる	橋本
34	4	前期総括	定期試験対策	橋本
評価方法		定期試験、出席状況、授業態度、実技テスト、実習報告書等で評価する。		

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	橋本 理恵
38		歯科予防処置論Ⅳ	開講時期 授業時間	2年通年 135		
☑実務経験のある教員による授業					単位数	3 単位 実習
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業で、歯科予防処置の目的・方法・手技について講義や実習を通して学び、生体に対する配慮を行いながら正確かつ迅速に歯石除去をする技術・能力・態度を身につけることを目標とする。					歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版 保健生態学	
教育目標該当項目		②③④⑤⑥			医歯薬出版株式会社	
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	4	エアスケーラーマニキン実習（全顎）	エアスケーラーの操作方法をマニキンにて理解することができる			橋本
2	4	エアスケーラー相互実習（下顎）	生体に対する配慮をしながら超音波スケーラーで上下前歯部の操作をすることができる			橋本
3	4	エアスケーラー相互実習（上顎）	生体に対する配慮をしながら超音波スケーラーで上下前歯部の操作をすることができる			橋本
4	4	超音波スケーラーマニキン実習（全顎）	超音波スケーラーの操作方法をマニキンにて理解することができる			橋本
5	4	超音波スケーラー相互実習（1）	生体に対する配慮をしながら超音波スケーラーで歯石除去を行うことができる（下顎）			橋本
6	4	超音波スケーラー相互実習（2）	生体に対する配慮をしながら超音波スケーラーで歯石除去を行うことができる（上顎）			橋本
7	4	超音波スケーラー相互実習（3）	生体に対する配慮をしながら超音波スケーラーで歯石除去を行うことができる（上下前歯部・手用）			橋本
8	4	歯面清掃器の基礎知識 サブソニックブラシの基礎知識	歯面清掃器、サブソニックブラシの基礎知識・基本操作を理解することができる			橋本
9	4	歯面清掃器基本操作 歯面清掃器マニキン実習	歯面清掃器の基本操作を理解することができる（爪・10円玉） 歯面清掃器で上下前歯部の操作をすることができる			橋本
10	4	歯面清掃器相互実習 サブソニックブラシ相互実習	生体に対する配慮をしながら歯面清掃器（エリスリトール）、サブソニックブラシの操作を行うことができる			橋本
11	4	歯面清掃器～歯面研磨相互実習（上下前歯部）	生体に対する配慮をしながら歯面清掃器（炭酸水素ナトリウム）～歯面研磨の操作を行うことができる			橋本
12	4	PMTCの基礎知識	PMTCの基礎知識・基本操作を理解することができる			橋本
13	4	PMTC相互実習（1）（全顎）	生体に対する配慮をしながら問題点を把握し、ブラッシング指導を実施後PMTCの操作を行うことができる			橋本
14	4	PMTC相互実習（2）（全顎）	生体に対する配慮をしながら問題点を把握し、ブラッシング指導を実施後PMTCの操作を行うことができる			橋本
15	4	PMTC相互実習テスト	生体に対する配慮をしながら問題点を把握し、ブラッシング指導を実施後PMTCの操作を行うことができる			橋本

16	4	フッ化物中毒についての復習	フッ化物の適正な使用量を理解し、安全に塗布することを学ぶ	橋本
17	4	臨床現場でのフッ化物塗布法①	フッ化物の適正な使用量を理解し、安全に塗布することを学ぶ（歯ブラシゲル法）	橋本
18	4	臨床現場でのフッ化物塗布法②	フッ化物の適正な使用量を理解し、安全に塗布することを学ぶ（綿球ゲル法）	橋本
19	4	臨床現場でのフッ化物塗布法③	フッ化物の適正な使用量を理解し、安全に塗布することを学ぶ（綿球薬液法）	橋本
20	4	臨床現場でのフッ化物塗布法④⑤	フッ化物の適正な使用量を理解し、安全に塗布することを学ぶ（トレイ法：フォーム法、イオン導入法）	橋本
21	4	小窩裂溝填塞、フッ化ジアンミン銀の復習	操作手順を理解することができる	橋本
22	4	小窩裂溝填塞模型実習 フッ化ジアンミン銀マニキン塗布実習	操作手順を理解し、施術できる	橋本
23	4	フッ化物イオン濃度を知る実習	歯科医院で取り扱っているものと市販との差を知る	橋本
24	4	総括	重要事項総括・定期試験対策（小テスト）	橋本
25・26	8	患者誘致実習	生体に配慮しながら、口腔内診査・スケーリング・研磨・洗浄・貼薬・指導することができる	橋本
27・28	8	患者誘致実習	生体に配慮しながら、口腔内診査・スケーリング・研磨・洗浄・貼薬・指導することができる	橋本
29・30	8	患者誘致実習	生体に配慮しながら、口腔内診査・スケーリング・研磨・洗浄・貼薬・指導することができる	橋本
31・32	8	患者誘致実習	生体に配慮しながら、口腔内診査・スケーリング・研磨・洗浄・貼薬・指導することができる	橋本
33・34	8	プレテスト	歯科医療人としての態度・知識などの確認と、臨床実習に臨む意識を高める	橋本
評価方法		・定期試験、出席状況、授業態度、実技テスト、実習報告書等で評価する。 ・プレテストは、定期試験で合格点に満たない場合受けることができない。		

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	大竹 紀子	
		保健指導論Ⅰ	開講時期	1年前期			
			授業時間	90			
			☑実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験を活かした授業で、健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持し、増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術、態度を修得する。					歯科衛生学シリーズ		
					歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版		
					保健生態学		
教育目標該当項目		②③④⑤⑥			医歯薬出版株式会社		
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	4	保健指導の概要 保健指導の法的位置づけ	歯科保健指導の概要を説明できる 歯科衛生士の法的位置づけを説明できる			大竹	
2	4	健康の概念 予防の概念	プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる/3つの予防レベルを説明できる			大竹	
3	4	口腔の基礎知識	正常な口腔の構成要素を説明できる 摂食嚥下・構音・味覚唾液の仕組み			大竹	
4	4	う蝕と歯周病の基礎知識 食生活指導のための基礎知識	プラーク、歯石の成分、う蝕・歯周病の原因・分類を説明できる 食事バランスガイド、SV（サービング）の数え方			大竹	
5	4	保健行動支援のための基礎知識 健康信念モデル	食育基本法について理解できる 動機づけ面接、ディスカッション			大竹	
6	4	歯科衛生過程①	歯科衛生過程を理解できる 歯科衛生過程の6つの構成要素を理解できる			大竹	
7	4	歯科衛生過程②	歯科衛生介入に関連した検査方法を説明できる			大竹	
8	4	全身の健康状態の把握①	器質的、機能的問題について理解できる 認知および精神状態、生活に関する情報を理解できる			大竹	
9	4	全身の健康状態の把握②	口腔内の器質的問題について理解できる			大竹	
10	4	全身の健康状態の把握③	口腔内の沈着物について理解できる 染色剤検討実習			大竹	
11	4	歯周疾患検査	歯周ポケット測定について理解できる			大竹	
12	4	全身の健康状態の把握④	口腔内の機能的問題について理解できる			大竹	
13	4	分析のためのデータ①	様々な種類の指数を理解し、説明することができる			大竹	
14	4	分析のためのデータ②	様々な種類の指数を理解し、説明することができる			大竹	
15	4	分析のためのデータ③	様々な種類の指数を理解し、説明することができる			大竹	

16	4	口腔内写真・画像	口腔内写真・画像から情報を収集し理解することができる	大竹
17	4	口腔内写真検討実習	口腔内写真を実際に撮影し撮影法を理解することができる	大竹
18	4	歯ブラシの知識①	歯科衛生介入としての歯科保健指導 歯ブラシ検討実習	大竹
19	4	口腔清掃方法①	歯ブラシの毛先を使用したブラッシング方法を理解することができる	大竹
20	4	口腔清掃方法②	歯ブラシの脇腹を使用したブラッシング方法を理解することができる	大竹
21	4	口腔清掃法 顎模型実習	口腔内状況を把握し、適したブラッシング方法を選択することができる	大竹
22	4	口腔清掃法 口腔内実習	口腔内状況を把握し、適したブラッシング方法を選択することができる	大竹
23	4	実習まとめ・総括	重要事項総括・定期試験対策・小テストなど	大竹
評価方法		定期試験、出席状況、提出物、授業態度等で総合的に評価する。		

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者		
40	○	保健指導論Ⅱ	開講時期	1年後期	大竹 紀子		
			授業時間	45			
		☑実務経験のある教員による授業				単位数	1 単位
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験を活かした授業					歯科衛生学シリーズ		
で、健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持し、増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティ					歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版		
ケアの基本となる知識、技術、態度を修得する。					保健生態学		
教育目標該当項目			②③④⑤⑥		医歯薬出版株式会社		
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	4	歯ブラシの知識②	電動歯ブラシ、音波ブラシ、超音波歯ブラシ等の操作方法と検討実習			大竹	
2	4	特別講義（モリタ）	音波歯ブラシの取り扱いについて			大竹	
3	4	ブラッシングテスト①	口腔内状況をアセスメントし、対象者にふさわしいブラッシング方法を指導することができる			大竹	
4	4	ブラッシングテスト②	口腔内状況をアセスメントし、対象者にふさわしいブラッシング方法を指導することができる			大竹	
5	4	歯磨剤	歯磨剤について理解することができる フッ化物配合歯磨剤について理解することができる			大竹	
6	4	歯磨剤検討実習 口臭測定実習	歯磨剤について理解し、使用方法を指導することができる 簡易口臭測定を行い指導することができる			大竹	
7	4	補助用具 補助用具検討実習	補助用具の種類と特徴を理解することができる 適応補助用具を選択し、指導することができる			大竹	
8	4	洗口液・洗口剤 洗口液・洗口剤検討実習	洗口液・洗口剤の種類と特徴を理解することができ、 その使用方法について指導することができる			大竹	
9	4	喫煙者に対する指導	行動変容のステージモデルを理解し、喫煙者に対して的確なアドバイスを行うことができる			大竹	
10	4	NCD s（非感染性疾患）	NCDs（非感染性疾患）について理解し、生活習慣の指導をすることができる			大竹	
11	4	ブラッシング～補助用具 TBI実習	口腔内状況をアセスメントし、対象者にふさわしいブラッシング方法を指導することができる			大竹	
12	4	総括	重要事項総括・定期試験対策			大竹	
評価方法		定期試験、出席状況、提出物、授業態度等で総合的に評価する。					

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	大竹 紀子	
41		保健指導論Ⅲ	開講時期	2年通年			
			授業時間	90			
		☑実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験を活かした授業					歯科衛生学シリーズ		
で、歯科衛生過程をすすめていく上で必要となる知識と技術を身につけるとともに、実際に歯科衛生診断、計画立案、評価等、歯科衛生過程に必要な能力を身につける。					歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版		
					保健生態学		
教育目標該当項目			②③④⑤⑥		医歯薬出版株式会社		
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	4	集団指導/媒体について	集団指導についての理解を深める			大竹	
2	4	ライフステージごとの介入 妊産婦	各ライフステージの特徴、妊産期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
3	4	新生児期	新生児期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
4	4	乳児期	乳児期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
5	4	幼児期	幼児期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
6	4	学童期	学童期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
7	4	青年期	青年期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
8	4	成人期	成人期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
9	4	老年期	老年期における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
10	4	要介護高齢者・障害者	要介護高齢者・障害者における特徴にあった歯科保健指導を実施できる			大竹	
11	4	要介護高齢者疑似体験実習	疑似体験を通じて高齢者を理解することができる			大竹	
12	4	口腔機能低下症 検査実習	検査内容を理解し口腔機能低下症の理解を深める			大竹	
13	4	ライフステージまとめ	ライフステージにおける保健指導の理解の確認			大竹	
14	4	業務記録	業務したことの証明になるため、必要な項目を理解し、活用できる様式を知る（PC用意）			大竹	
15	4	100%磨き実習	歯ブラシ、補助用具を用いて100%磨きを体験することにより、患者指導に役立てることを目的とする			大竹	

16	4	統計処理	記録をもとに正しくDMF/defの算出をすることができる	大竹
17	4	口腔ケア実習	高齢者の口腔ケアを安全に実施するために理解を深める	大竹
18	4	嚥下機能評価実習	嚥下機能低下は全身管理にも悪影響を及ぼすため、嚥下機能を知ることは重要であることを理解する	大竹
19	4	摂食・咀嚼評価実習	舌の動き、呼吸を確認しながら摂食を行い、口腔機能の大切さを理解する	大竹
20	4	TBI・口腔内写真撮影相互実習	1年次に行ったTBIに加え、ブラッシング方法のほかライフステージに沿った生活習慣指導をすることができる	大竹
21	4	集団指導演習	集団指導についての理解の確認	大竹
22	4	集団指導演習	集団指導用媒体制作と発表準備	大竹
23	4	総括	重要事項総括・定期試験対策	大竹
評価方法		定期試験、出席状況、授業態度等で総合的に評価する。		

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	熊澤 真理子
42		栄養指導論	開講時期	2年前期	単位数	2 単位
			授業時間	30		
		□実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
医療従事者として栄養素の基礎知識、食生活と健康、現代の食生活の問題点、さらに栄養指導の実践について学ぶ。					歯科衛生学シリーズ	
また、望ましい食生活習慣の実践ができるよう、栄養学の基礎的な考え方・理論を理解する。					人体の構造と機能3 栄養学 医歯薬出版株式会社	
教育目標該当項目					正しい知識で健康をつくる 新しい栄養学 高橋書店	
②④						
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	食生活と栄養	食生活の変遷と健康との関係を知る 栄養摂取状況を知り、栄養指導の必要性を理解する。			熊澤
2	2	栄養素の分類と機能	生体における生体構成成分・栄養素について知る 栄養素の栄養学特徴を知る。消化と吸収について理解する。			熊澤
3	2	活動と栄養	身体活動とエネルギー・基礎代謝量について知る 日本人の食事摂取基準について基本的考え方を理解する。			熊澤
4	2	糖質（炭水化物）	糖質の種類や働き、栄養的意味を理解する 糖質と齲蝕の関係を知る。糖質と朝食の関係を知る。			熊澤
5	2	タンパク質	タンパク質の種類や働き、栄養的意味を理解する タンパク質の不足、過剰について理解する。			熊澤
6	2	脂質	脂質の種類や働き、栄養的意味を理解する 脂肪酸の働きについて理解する。			熊澤
7	2	ビタミン・無機質	ビタミン・無機質の生理機能と欠乏症について理解する			熊澤
8	2	水・食物繊維	水・食物繊維の働きや栄養的意味を理解する			熊澤
9	2	食生活と食品（1）	食べ物と健康の関連を知る 正しい食生活の実践のための食品成分表を知る			熊澤
10	2	食生活と食品（2）	国民の健康と栄養の現状と疾病の変化を知る 食べ物の物性や味覚感受性を知る			熊澤
11	2	食生活と食品（3）	食生活指針、食事バランスガイド、健康増進法、 トクホ食品を知る			熊澤
12	2	ライフステージ別栄養指導（1）	成長期における栄養の特性（乳児期・幼児期・学童期・思春期）を理解する			熊澤
13	2	ライフステージ別栄養指導（2）	成人期における栄養の特性（妊娠・授乳期）を理解する			熊澤
14	2	ライフステージ別栄養指導（3）	高齢期の食生活指導の特徴と留意点を理解する			熊澤
15	2	総括	重要事項総括・定期試験対策			熊澤
評価方法		定期試験、出席状況、授業態度等で総合的に評価する。				

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者		
43		歯科診療補助論Ⅰ	開講時期	1年前期	田村 覚美	実習	
			授業時間	45			
		☑実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業で、歯科診療補助に関する知識と技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本技術は顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。					歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 歯科機器 歯科材料 歯科衛生士国家試験予想問題集 第2版 歯科医療における国際標準 感染予防対策テキスト滅菌・消毒・洗浄 医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②③④⑤⑥					
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	4	オリエンテーション歯科衛生士の仕事 歯科診療補助の概要	学校で行う実習科目について理解する 歯科衛生士の仕事を理解しよう			田村	
2	4	歯科診療補助の概要 実習の考え方とねらい	学校で行う際の注意点、目的を理解する 医療安全 の目標、感染予防対策について理解する			田村	
3	4	消毒と手指消毒（手洗い実習）	医療従事者としての手洗いができる			田村	
4	4	滅菌と消毒の意義	各種滅菌方法の理解、器具・器材の消毒、洗浄、管理について理解する			田村	
5	4	滅菌器の名称と取扱い	消毒器・滅菌器の取扱い方法、注意点を理解する			田村	
6	4	医療廃棄物の取り扱い	ハイリスク患者の器材・医療廃棄物の取り扱いの理解			田村	
7	2	診療室の基礎知識	ユニットの仕組みにつ入れ学ぶ			田村	
8	4	ユニットの取り扱い	臨床実習室の使用の仕方について 係の仕事、実習前準備、後片付けの把握			田村	
9	4	共同動作の操作の基本	歯科診療を行う際の適切な環境を理解する 歯科診療室 にある器械・材料の構造、機能、管理法を理解する			田村	
10	4	患者誘導・ポジショニング・ 水平位・ライティング	共同動作、患者誘導の目的、意義を理解する コミュニケーションをとりながら適切に誘導できる			田村	
11	4	器具の受け渡し	共同動作を理解する			田村	
12	4	衛生材料作成実習	用途に応じた綿球、ロールワッテ、小折ガーゼ が作成できる			田村	
評価方法		出席状況、定期試験、実技テスト、実習報告書、授業・実習態度等で総合評価する。					

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者		
44		歯科診療補助論Ⅱ	開講時期	1年通年	岩片 真己	2 単位	実習
			授業時間	90			
		☑実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での8年間の実務経験を活かした授業で、歯科診療補助に関する知識と基本的技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本的技術では顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。					歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 歯科機器 歯科材料 歯科衛生士国家試験予想問題集 第2版 医歯薬出版株式会社 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎 永末書店		
教育目標該当項目		②③④⑤⑥					
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	4	ミラーテクニック・3WAYシリンジ・バキュームテクニック（目的、禁忌部位を理解する）	施術部位を理解し、それに合わせたミラーテクニックを行えるバキュームの目的、禁忌部位を理解することができる			田村	
2	4	ミラーテクニック・3WAYシリンジ・バキュームテクニック（部位別マニキン実習 1～12群）	スリーウェイシリンジ・バキュームテクニックの目的、操作の基本を理解することができる			田村	
3	4	バキュームテクニック（口腔内洗浄相互実習 1～6群・7～12群）	ライティングおよび部位に応じたバキューム操作が適切にできる			田村	
4	4	バキュームテクニック（口腔内洗浄相互実習 1～6群・7～12群）	ライティングおよび部位に応じたバキューム操作が適切にできる			田村	
5	4	バキュームテクニックテスト（口腔内洗浄相互実習）	患者誘導からの流れを理解して実習を行うことができる			田村	
6	4	防湿法（防湿法の種類と意義・マニキン実習）	簡易防湿の手順、注意点を理解し実習を行うことができる			田村	
7	4	簡易防湿相互実習 （患者誘導～スプレー洗浄～簡易防湿）	使用器具の形態、名称、目的を理解して実習を行うことができる 生体に配慮しながら簡易防湿の手順・注意点を理解し、実習を行うことができる			田村	
8	2	総復習①	実習の総まとめ			田村	
9	4	歯科材料の基礎知識 歯科材料の基礎知識	歯科材料とは何か理解する 歯科材料の適正な取り扱い法を理解する			岩片	
10	4	印象材	印象材の分類と印象方法について理解する アルジネート印象材について理解する			岩片	
11	4	印象材	寒天印象材とシリコーンゴム印象材について理解する その他の印象材について理解する			岩片	
12	4	印象材練和実習 （アルジネート印象材練和）	アルジネート印象材の練和方法を体得する			岩片	
13	4	アルジネート印象採得実習 （マネキン実習・片顎）	印象採得の手順を理解して行うことができる			岩片	
14	4	アルジネート印象採得実習 （マネキン実習・下顎）	印象採得の手順を理解して行うことができる			岩片	
15	4	アルジネート印象採得実習 （マネキン実習・上顎）	印象採得の手順を理解して行うことができる			岩片	

16	4	アルジネート印象採得テスト	印象採得の手順を理解して行うことができる	岩片
17	4	概形印象相互実習（下顎）	印象前に問診を行い嘔吐反射に対する適切な対応が行える 採得後にも患者に対する配慮が行える	岩片
18	4	概形印象相互実習（上顎）	印象前に問診を行い嘔吐反射に対する適切な対応が行える 採得後にも患者に対する配慮が行える	岩片
19	4	模型材料 石膏模型作製実習（マネキン）	歯科用石膏の種類と用途を理解する 模型材の歯科理工学を理解する	岩片
20	4	石膏下顎模型作製実習（相互実習）	生体に配慮しながら、石膏模型を作製することができる	岩片
21	4	石膏上顎模型作製実習（相互実習）	生体に配慮しながら、石膏模型を作製することができる	岩片
22	4	寒天印象材の取り扱い 連合印象採得実習(マネキン)	寒天印象材の性質を理解し、取り扱い方法を体得する	岩片
23	4	ゴム質印象材の取り扱い 連合印象採得実習(マネキン)	シリコン印象材の性質を理解し、練和方法を体得する	岩片
24	2	総復習	歯科診療補助論Ⅱまとめ	岩片
評価方法		出席状況、定期試験、実技テスト、実習報告書、授業・実習態度等で総合評価する。		

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	
45		歯科診療補助論Ⅲ	開講時期 授業時間	2年前期 90	田村 覚美	
☑実務経験のある教員による授業					単位数	2 単位 実習
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業で、 歯科診療補助に関する知識と技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本技術は顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。					教科書（書名/著者名/発行所） 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 歯科機器 歯科材料 歯科衛生士国家試験予想問題集 第2版 医歯薬出版株式会社 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎 永末書店	
教育目標該当項目		②③④⑤⑥				
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員
1	2	ラバーダム防湿 (ラバーダム防湿の目的と手順)	ラバーダム防湿の利点・欠点を理解する			田村
2	4	ラバーダム防湿 (ラバーダム防湿マニキン実習)	施術部位を理解してラバーダム防湿を行うことができる			田村
3	4	ラバーダム防湿 (ラバーダム防湿マニキン実習)	施術部位を理解してラバーダム防湿を行うことができる			田村
4	4	ラバーダム防湿テスト	時間内に正しくラバーダム防湿が行える			田村
5	4	合着材と接着材	合着材・接着材の種類と用途			岩片
6	4	合着材練和実習	練和練習 グラスアイオノマーセメント リン酸亜鉛セメント、カルボキシレートセメント			岩片
7	4	接着性レジンセメントの取り扱い	接着性レジンセメントについて理解する			岩片
8	4	仮封材と仮着材	仮封材の種類を理解する 仮着材の種類を理解する			岩片
9	4	仮封材練和実習 仮着材練和仮着実習	仮封材の性質と特徴を理解して、練和・充填を行うことができる 仮着材の性質と特徴を理解して、練和・仮着を行うことができる			岩片
10	2	歯科用ワックス	歯科用ワックスの取り扱いを理解する			岩片
11	4	成形歯冠修復材の基礎知識 成形歯冠修復材の取り扱い	成形歯冠修復材について理解する			田村
12	4	コンポジットレジン修復実習 グラスアイオノマー修復実習	コンポジットレジン充填の実際を理解し、取り扱うことができる グラスアイオノマー修復について、手順と使用器材を理解できる			田村
13	4	保存治療時の診療補助 前準備 隔壁法・歯間分離・歯肉排除法	隔壁法・歯間分離法・歯肉圧排法を理解し、用いる 器具や材料の名称・用途を理解する			田村
14	4	保存治療時の診療補助 前準備の器具の操作実習	隔壁法・歯間分離法・歯肉圧排法を理解し、隔壁法に用いる器具を操作できる			田村
15	4	保存治療時の診療補助 直接法について	コンポジットレジン修復の手順を理解する グラスアイオノマーセメント修復の手順を理解する			田村
16	4	切削機器・コンポジットレジン修復 グラスアイオノマーセメント修復	コンポジットレジン修復の準備、受け渡しができる グラスアイオノマーセメント修復の準備、受け渡しができる			田村

17	4	保存治療時の診療補助 インレー修復	インレー修復の手順、器材を理解する	田村
18	4	歯内治療時の診療補助 漂白法	漂白法の手順を理解する 検査、診断や歯髄処置の流れを理解する	岩片
19	4	歯内治療時の診療補助 歯髄保存療法・歯髄除去療法について	歯髄保存療法の種類と手順を理解する 薬剤や器材の準備、受け渡しについて理解する	岩片
20	4	歯内治療時の診療補助 綿栓作成実習 歯髄処置	歯髄処置の手順を理解する 用途に応じた綿栓を作成できる	岩片
21	4	歯内治療時の診療補助 麻酔抜髄	歯髄処置の薬剤や器材の取り扱いを理解する 電気歯髄診断機、根管長測定器の取り扱いを理解する	岩片
22	4	歯内治療時の診療補助 麻酔抜髄	麻酔抜髄の手順を理解する 薬剤や器材の準備、受け渡しについて理解する	岩片
23	4	歯内治療時の診療補助 根管充填	根管処置の手順を理解する 薬剤や器材の準備、受け渡しについて理解する	岩片
24	4	歯内治療時の診療補助 根管充填	根管充填の手順を理解する 薬剤や器材の準備、受け渡しについて理解する	岩片
評価方法		出席状況、定期試験、実技テスト、実習報告書、授業・実習態度等で総合評価する。		

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者		
46		歯科診療補助論Ⅳ	開講時期	2年通年	岩片 真己		
			授業時間	135			
		☑実務経験のある教員による授業				単位数	3 単位
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での8年間の実務経験を活かした授業で、歯科診療補助に関する知識と基本的技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本的技術では顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。					歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論第2版 歯科機器 臨床検査 歯科材料 歯科衛生士国家試験予想問題集 第2版 医歯薬出版株式会社 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎 永末書店		
教育目標該当項目		②③④⑤⑥					
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	4	補綴治療時の診療補助 クラウン・ブリッジ	クラウン・ブリッジにおける歯科衛生士の役割 薬剤や器材の準備、受け渡しを理解する			岩片	
2	4	補綴治療時の診療補助 有床義歯	全部床における歯科衛生士の役割 薬剤や器材の準備、受け渡しを理解する			岩片	
3	4	補綴治療時の診療補助 有床義歯	全部床義歯治療時における歯科衛生士の役割 薬剤や器材の準備、受け渡しを理解する			岩片	
4	4	補綴治療時の診療補助 有床義歯	部分床義歯治療時における歯科衛生士の役割 薬剤や器材の準備、受け渡しを理解する			岩片	
5	4	補綴治療時の診療補助 インプラント	補綴治療時における歯科衛生士の役割 インプラントについて理解する			岩片	
6	4	暫間被覆冠	暫間被覆冠の目的と、レジン既製冠の使用方法を理解できる			岩片	
7	4	暫間被覆冠作製実習 (既製冠を使用しての作製)	即時重合レジン、電気エンジンの使用方法を理解できる レジン既製冠を用いて暫間被覆冠を作成できる			岩片	
8	4	暫間被覆冠作製実習 (印象法)	アルジネート印象材で印象を行い、印象物を利用した暫間被覆冠作製方法を理解できる			岩片	
9	4	暫間被覆冠作製実習 (直接法)	即時重合レジンを用いて暫間被覆冠を作製できる			岩片	
10	4	暫間被覆冠作製実習 (直接法)	患者配慮を行いながら即時重合レジンを用いて暫間被覆冠を作製できる			岩片	
11	4	矯正治療時の診療補助	矯正治療時の器材・器具について学ぶ			田村	
12	4	矯正治療時の診療補助	矯正治療時の口腔筋機能療法(MFT)の実習			田村	
13	4	矯正治療時の診療補助	矯正治療時の診療補助の流れについて学ぶ			田村	
14	4	口腔外科治療時の診療補助 外科器具・局所麻酔	局所麻酔時に用いる器材を理解する 各種鎮静法、全身麻酔の手順を理解する			田村	
15	4	口腔外科治療時の診療補助 外科器具スケッチ	口腔外科治療時における歯科衛生士の役割 抜歯時に用いる器材を理解し準備できる			田村	

16	4	口腔外科治療時の診療補助 術前管理・救急蘇生法	各種鎮静法、全身麻酔の手順を理解する 救急処置時の対応を理解する	田村
17	4	口腔外科治療時の診療補助 抜歯・難抜歯	口腔外科治療時における歯科衛生士の役割 抜歯時に用いる器材を理解し準備できる	田村
18	4	口腔外科治療時の診療補助 取り扱い実習	口腔外科治療時における歯科衛生士の役割 縫合糸の準備を理解する	田村
19	4	小児治療時の診療補助	小児患者の対応 各種治療の手順を理解し準備ができる	田村
20	4	小児治療時の診療補助	小児患者の対応 各種治療の手順を理解し準備ができる	田村
21	4	外科的歯内療法	各種治療の手順を理解し準備ができる	岩片
22	4	歯周治療時の診療補助	歯周治療時における歯科衛生士の役割 歯周基本検査、歯周外科治療について理解する	岩片
23	4	歯周治療時の診療補助 歯周外科治療	歯周外科治療器材の取り扱いを理解する 歯周パックの取り扱いができる	岩片
24	4	エックス線写真撮影時の診療補助	撮影器械の取り扱いを理解できる 放射線防護について理解し説明できる	田村
25	4	エックス線写真撮影時の診療補助	撮影器械の取り扱いを理解できる 放射線防護について理解し説明できる	田村
26	4	エックス線写真撮影時の取り扱い実習	撮影器械の取り扱い実習	田村
27	4	プレテスト	歯科医療人としての態度・知識などの確認と、臨床実習 に臨む意識を高める	岩片
28	4	プレテスト	歯科医療人としての態度・知識などの確認と、臨床実習 に臨む意識を高める	岩片
29	4	臨床検査とは	導入・各テーマにおける重要事項の解説 (教科書・プリント使用)	岩片 田村
30	4	血圧測定実習	血圧測定について理解する 血圧測定を行うことができる	岩片 田村
31	4	生体検査（生理機能検査）	各テーマにおける重要事項の解説 (教科書・プリント使用)	岩片 田村
32	4	検体検査（1） 血液を用いる検査	各テーマにおける重要事項の解説 (教科書・プリント使用)	岩片 田村
33	4	検体検査（2） 感染症検査／病理検査	〃	岩片 田村
34	4	口腔領域の臨床検査（1） 口臭検査・味覚検査	〃	岩片 田村
評価方法		出席状況、定期試験、実技テスト、実習報告書、授業・実習態度等で総合評価する。		

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者		
47	○	歯科診療補助論Ⅴ	開講時期	3年前期	堀内 知恵	担当教員	堀内 知恵
			授業時間	45			
		□実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
健康保険制度の基本的知識を理解し、医療行為に対する診療報酬請求事務を学ぶ。診療の流れを十分に理解し、診療録に基づいた正しい診療報酬明細書の記載方法、傷病名記載方法を学ぶ。診療録に基づいた治療費の計算方法等、内容も理解する。					歯科保険請求マニュアル		
教育目標該当項目		②③④⑤⑥					
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	2	特別講義	グラクソ 義歯の取り扱いについて①			橋本	
2	2	特別講義	グラクソ 義歯の取り扱いについて②			橋本	
3	2	レセプトとは	レセプトの意味、ルール、流れについて①			堀内	
4	2	レセプトとは	レセプトの意味、ルール、流れについて②			堀内	
5	2	医療保険、保険診療について	保険証の種類、負担金の割合、保険診療のルール			堀内	
6	2	レセプト、診療録の書き方	診療録の色分け、ルール、レセプト用紙について			堀内	
7	2	傷病名について	よく使用される傷病名の略称などを覚える			堀内	
8	2	まとめ	ここまでの内容のまとめ			堀内	
9	2	基本診察料	初診料、再診料、各種加算などについて			堀内	
10	2	医学管理	歯科疾患管理料、歯科衛生実地指導料などについて			堀内	
11	2	検査、画像診断	検査の種類、レントゲンなどについて			堀内	
12	2	処置（歯周疾患）	スケーリング、歯周外科手術などについて			堀内	
13	2	処置（歯の疾患の処置）	充填・充填材料、歯冠修復などについて			堀内	
14	2	処置（歯内療法）	抜髄、感染根管処置などについて			堀内	
15	2	補綴（クラウン）	形成、印象採得、咬合採得、材料などについて			堀内	
16	2	補綴（ブリッジ）	診断料、維持管理料などについて			堀内	
17	2	補綴（義歯）	義歯作製の流れ、構造、義歯管理料などについて			堀内	
18	2	手術・投薬	外科手術、投薬などについて			堀内	
19	2	周術期機能管理	計画策定料、管理料、処置などについて			堀内	
20	2	歯科訪問診療	訪問診察料、管理料、指導料などについて			堀内	
21	2	歯科診療報酬早見表	早見表の見方を覚える			堀内	
22	2	まとめ	ここまでの内容のまとめ			堀内	
23	2	総括	医療事務についての総括			堀内	
評価方法		出席状況、授業態度、課題、定期試験等で評価する。					

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	大竹 紀子	
48	○	臨地実習Ⅰ	開講時期	2年後期	担当者		
			授業時間	135			
		☒ 実務経験のある教員による授業					単位数
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験と活かした授業で、ライフステージごとの歯科保健指導能力を養うための手段として、保育園・幼稚園・小学校・中学校において口腔清掃指導の実習を行う。					教科書（書名/著者名/発行所）		
教育目標該当項目		①②③④⑤⑥					
授業内容							
・ オリエンテーション ・ エプロンシアター発表 ・ 媒体作成、実習準備 ・ 幼稚園、保育園実習 ・ 小学校実習							
評価方法	出席、実習態度、提出物、実習担当教員のチェック項目により評価する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	3年次担任	
49		臨地実習Ⅱ	開講時期	3年通年		単位数	3 単位
			授業時間	135			
		☑実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、臨地実習Ⅰに基づき、対象者に対して口腔衛生指導の技術を確実にするとともに、歯科衛生過程に基づきアセスメントをとり、歯科衛生診断をし、歯科衛生計画を立て、介入まで行うことを目的とする。また、歯科衛生士として必要な知識・技術・態度を身につけ、自分の意見を持ち、さらに医療専門職として責任のある行動を獲得することを目的とする。							
教育目標該当項目		①②③④⑤⑥					
授業内容							
・オリエンテーション ・媒体作成、実習準備 ・障害者歯科診療所見学実習 ・保健センターにて母子保健事業見学実習（1歳6か月児健診、3歳児健診） ・高齢者施設における口腔機能向上教室 ・特別支援学校における歯磨き指導実習							
評価方法	出席、実習態度、提出物、実習担当教員のチェック項目により評価する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	2年次担任	
50	○	臨床実習Ⅰ	開講時期	2年後期		単位数	2 単位
			授業時間	90			
		☑実務経験のある教員による授業		実習			
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
校内実習を段階的に行った上で、それぞれ境遇の違う患者と接することにより、一人ひとりの口腔内状況を知り、その問題点を解決するために実習指導者はどう実施内容を考え、介入しているかを見学し、学ぶことを目的としている。また、最終学年での実習をより効果的かつ有意義にすることを目的とする。							
教育目標該当項目		①②③④⑤⑥					
授業内容							
・オリエンテーション							
・歯科診療所実習Ⅰ							
・まとめ							
評価方法	出席、実習態度、提出物、実習指導者のチェック項目により評価する。						

専門分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門	担当者	3年次担任	
51	○	臨床実習Ⅱ	開講時期	3年通年		単位数	12 単位
			授業時間	540			
		☑実務経験のある教員による授業					
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、臨床実習指導者のもとで患者を担当し、歯科衛生過程に基づきアセスメントをとり、歯科衛生診断をし、歯科衛生計画を立てて介入し、その後評価まで行うことを目的とする。また、歯科衛生士として必要な知識・技術・態度を身につけ、自分の意見を持ち、さらに医療専門職としての責任ある行動を獲得することを目的とする。							
教育目標該当項目		①②③④⑤⑥					
授業内容							
・オリエンテーション							
・歯科診療所実習Ⅱ－1							
・歯科診療所実習Ⅱ－2							
・歯科診療所実習Ⅱ－3							
・まとめ							
評価方法	出席、実習態度、提出物、実習指導者のチェック項目により評価する。						

選必分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	選必	担当者	新井 邦尊	
52		卒業研究	開講時期	3年後期			
			授業時間	30			
□実務経験のある教員による授業					単位数	1 単位	演習
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
臨地実習及び臨床実習を通じて関わった症例を通して、知識を確認する。歯科医学の基礎、臨床基礎医学、治療学へとつながる一連の学問体系の中で、実習で体験した経験を踏まえて歯科衛生士に必須の知識を再度学ぶことでそれらの必要性を着実に発展させることを目的とした学習を行う。							
教育目標該当項目			②				
回数	時間	授業内容					担当教員
1	4	事前学習 情報収集（専門基礎分野①）					新井
2	4	事前学習 情報収集（専門基礎分野②）					新井
3	4	事前学習 情報収集（専門分野臨床①）					新井
4	4	事前学習 情報収集（専門分野臨床②）					新井
5	4	事前学習 情報収集（専門分野臨床③）					新井
6	4	事前学習 情報収集（専門分野臨床④）					新井
7	4	状況把握をするとともに問題点の把握					新井
8	4	まとめ					新井
評価方法		出席、授業態度、レポートで評価する。					

選必分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	選必	担当者	橋本 理恵	
53		実例演習Ⅰ	開講時期	2年後期			
			授業時間	30			
☑実務経験のある教員による授業					単位数	1 単位	演習
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）		
歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業					歯科衛生学シリーズ		
で、人々の歯科衛生ニーズにあった支援をするために、論理的に思考					歯科予防処置論・歯科保健指導論		
し、問題発見及び解決することの意義を理解する。					全国歯科衛生士教育協議会		
					医歯薬出版株式会社		
					よくわかる歯科衛生過程		
					医歯薬出版株式会社		
教育目標該当項目		②					
回数	時間	テーマ	授業内容・到達目標			担当教員	
1	4	歯科衛生過程についての復習	歯科衛生過程の概説を行う（8つのニーズ） テーマ提示（グループワーク開始）			橋本	
	4	モデル症例にて歯科衛生過程 を考える①	ICFを活用した情報収集、情報処理 ニーズの関連図			橋本	
2	4	モデル症例にて歯科衛生過程 を考える②	歯科衛生アセスメント 解釈・分析（Sデータ、Oデータ）			橋本	
	4	モデル症例にて歯科衛生過程 を考える③	情報の統合（問題/強み、データ不足/ギャップ） 歯科衛生診断（診断句、原因句）			橋本	
3	4	モデル症例にて歯科衛生過程 を考える④	歯科衛生計画立案 4つのニーズを選び優先順位を決定する			橋本	
	4	モデル症例にて歯科衛生過程 を考える⑤	長期目標、短期目標（C-P/E-P/O-P）を決める 歯科衛生介入計画予定表の決定			橋本	
4	4	発表準備	発表準備（データをPDF化） グループ発表を行い他グループの考えを知る			橋本	
	4	発表 総括	1～8班の発表 各班ごとの総括、重要事項総括、アンケート			橋本	
評価方法		出席、グループワーク態度、提出物等総合的に評価する。					

選必分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	選必	担当者	3年次担任
54		実例演習Ⅱ	開講時期	3年後期	単位数	1 単位
			授業時間	30		
		☑実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、歯科医学の基礎、臨床基礎医学、治療学へとつながる一連の学問体系の中で、臨床実習で体験した経験を踏まえて歯科衛生士に必須の知識を再度学ぶことでそれらの必要性を改めて着実に発展させることを目的とした授業を行う。						
教育目標該当項目		②				
授業内容						
各科目ごとに国家試験対策授業を行う。						
評価方法	出席、授業態度にて評価する。					

選必分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	選必	担当者	3年次担任
55		実例演習Ⅲ	開講時期	3年後期	単位数	2 単位
			授業時間	60		
		☑実務経験のある教員による授業				
科目概要・目標					教科書（書名/著者名/発行所）	
歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、過去の業者模試を行う。これまでに学んだ歯科衛生士になるための知識とスキルの集大成が目的であり、この授業で学ぶことにより、歯科衛生士国家試験を合格できる実力が確保されることが目的である。						
教育目標該当項目		②				
授業内容						
過去の業者模擬試験を受験する。						
評価方法	試験への出席、テスト結果にて評価する。					

選必分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	選必	担当者	3年次担任	
56		総合演習Ⅰ	開講時期	3年後期		単位数	1 単位
			授業時間	30			
		☑実務経験のある教員による授業		演習			
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、科目ごとの確認試験を行う。これまでに学んだ歯科衛生士になるための知識とスキルの集大成が目的であり、この授業で学ぶことにより、歯科衛生士国家試験を合格できる実力が確保されることが目的である。					教科書（書名/著者名/発行所）		
教育目標該当項目		②					
授業内容							
各科目ごとに確認テストを行う。							
評価方法	試験への出席、テスト結果にて評価する。						

選必分野

コード番号	企業との連携	科目名	分野	選必	担当者	3年次担任	
57		総合演習Ⅱ	開講時期	3年通年			
			授業時間	30			
		☑実務経験のある教員による授業				単位数	1 単位
科目概要・目標 歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、業者ごとの模擬試験と卒業試験を行う。これまでに学んだ歯科衛生士になるための知識とスキルの集大成が目的であり、この授業で学ぶことにより、歯科衛生士国家試験を合格できる実力が確保されることが目的である。					教科書（書名/著者名/発行所）		
教育目標該当項目		②					
授業内容							
年間5回の業者模擬試験の受験と、2回の卒業試験を行う。							
評価方法	試験への出席、試験結果により評価する。						